



気になった時が、受ける時



四谷メディカルキューブ
PET 検診

PET/CT 検査では、体のどこかに潜むがんを、比較的早期の段階で発見できます。
得意、不得意があり万能ではありませんが、他のどの検査と比べても、
より多くのがんを一度に調べることができます。

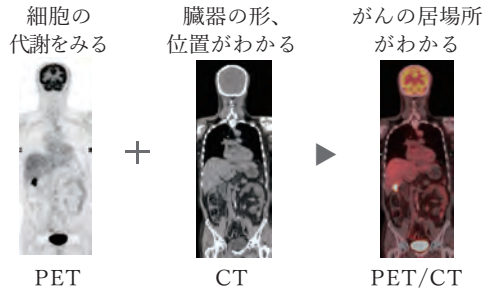
PET/CT 検査でのがんの発見頻度は、およそ 1% (100 人に 1 人) です。
それ以外にも重要な病気 (良性疾患) がおよそ 19% (5 人に 1 人) 発見されます。

「体のどこかに進行したがんが潜んでいないか」「病気が潜んでいないか」
「長い間体調がすぐれず回復しない」などという場合に、
まず PET/CT を受け、異常のないことを確認しておくことで安心です。

四谷メディカルキューブ 健診センター

お問合せ 03-3261-0412 (日・祝除く 9時~17時)

PET/CTとは、PET検査（細胞の代謝を画像化）と、CT検査（臓器の形を画像化）を一度に行うことができる検査です。



なぜがんを発見できるの？

がん細胞は正常な細胞の何倍ものブドウ糖を消費します。この特性を利用して、ブドウ糖に似た構造の薬剤「FDG」を投与し、細胞の糖代謝を画像化するPET検査と、臓器の形、位置などがわかるCT検査を同時に行うことで、体内に潜むがんを見つけ出します。



[PET/CT が得意とするがん]

肺がん 甲状腺がん 頭頸部がん
縦郭腫瘍 転移性肝がん 後腹膜腫瘍
子宮体がん 卵巣がん 悪性リンパ腫
GIST

[PET/CT が比較的得意とするがん]

乳がん 大腸がん 膵臓がん
子宮頸がん

[PET/CT が不得意とするがん]

脳腫瘍 早期食道・胃がん
肝細胞がん 泌尿器がん

※他の検査との併用をおすすめします。

四谷メディカルキューブの特徴

□ 読影体制

放射線科医と健診判定医がダブルチェックを行い、正確で丁寧な読影を心掛けています。

読影では、前回と比較して変化があるかも確認します。

定期的な受診は、より判定の精度があがります。

□ 検査実績

2005年の開院当初からPET/CT装置を導入し、日本有数の検査件数があります。

他の医療機関や大学病院からも検査依頼があり、多くの症例経験を積んでいます。

[放射線のリスクについて]

PET/CT検査に使用するFDGは、半減期（放射線の強さが2分の1になる時間）が約110分と短く、被ばく線量も10数mSvほどです。この程度の放射線被ばくは、人体にほとんど影響しないレベルです。放射線による発がんのリスクを比較した場合、喫煙や肥満、運動不足、塩分の取り過ぎの方がリスクが高いというデータ※もあります。

※放射線と生活習慣によってがんになるリスク（国立がんセンター調べ）

PET/CT検査のながれ (所要時間：約3時間)

問診

精度の高い検査を行うため、症状やこれまでの病歴等を確認します。

血糖値測定・FDG投与

血糖値測定後、FDG(検査薬剤)を投与します。



安静

検査薬が全身に行きわたるまで、約60分安静にします。



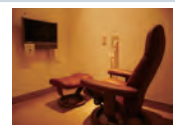
撮影

全身（耳のあたりから足の付け根）の撮影を約20分ほど行います。



安静

検査後は安静室に戻り、約20分休憩します。



検査終了

検査終了後、ご帰宅となります。

およそ2週間後に結果報告書を送付します。ご希望の方には、後日医師が結果についてご説明します。

